

1面からの続き

## 新アリーナ推進の“言い分”

## 推進の“言い分” 1



プロスポーツの基準を満たす施設がなく、バレーボールやバスケットボールのチームが岡山から拠点を移さざるを得ない。



シゲトーアリーナ（県立体育館）の改修で対応できる可能性があるのに、県と協議すらしていない。

## 推進の“言い分” 3



賑わい創出になる。  
高い経済効果がある。



広島、香川、兵庫など近隣でアリーナが先行。岡山で1万人規模のイベントが将来にわたって呼べるとする想定は甘過ぎ、予測通りの効果が得られるか不透明。

## 推進の“言い分” 2



岡山では開かれなかった有名アーティストのコンサートが開けるようになる。移住定住促進や若者の流出対策になる。



まさに娯楽施設であり、市民生活が大変な時に税金でつくるものではない。仕事の確保や暮らしの支援など、住みやすいまちづくりが行政の役割。

## 推進の“言い分” 4



市財政への影響は小さく、他の事業を圧迫しない。



建設当初の21億円や借金返済の毎年3.4億円の市財政からの支出は、結局、他に影響する。そもそも建設費自体が膨れ上がり、支出が現想定より増えることも確実。

寄附集めする民間事業者に  
手数料として税金から5億円

市は建設費280億円のうち50億円を寄附で、5年間（60ヶ月）で集める目標です。

寄附金集めは委託し、集めた額の1割が手数料として受託者に支払われます。手数料は市の税金で、寄附50億円なら5億円が別途税金から支出することになります。11月議会では寄附金2億5千万円（3ヶ月）分の手数料2,750万円の予算が可決されました。

市にアリーナ建設を要望した団体も寄附集めの受託者になることができます。自分たちのための施設で、寄附も自ら集めるからと要望してきたこれらの団体が、別途税金から手数料をもらうというのはおかしい話です。

ちなみに、25年12月時点で内諾を得た寄附のうち、単独依頼件数は、市の47に対して、経済界13、プロスポーツチームは0です。

結局、11月議会での2億円や手数料5億円など、建設費以外にもいろいろ税金がかかります。

林じゅん

## 自主防災組織等への助成金

## 活用しやすいよう改善されます

防災訓練や防災用品の購入などに使える助成金は、単位町内会の組織でも連合町内会の組織でも、1団体あたり上限5万円です。これを単位町内会の組織が個々の上限額内で申請し、連合町内会の組織で合算して活用することができます。助成金の要綱に明記されておらず、地域によって活用状況にばらつきがあります。

党市議団が運用の明確化と周知を求めたのに対し、市は来年度の要綱改定時に反映し、周知すると答弁しました。

## 物価高騰対応定額給付金

## 全市民に1人あたり5,000円

国予算をもとに全市民に1人あたり5千円（住民税非課税世帯には2千円加算で1人7千円）を支給します。

2月初め頃から「お知らせ」が届き、2月中頃以降に振込開始予定です。

★2024年度の「物価高騰重点支援給付金」などを受け取った低所得世帯の方と、公金受取口座を設定している方は、手続き不要です。それ以外の方は、市から届く書類に振込口座等を記入して返送した後、振込開始される予定です。

問い合わせ  
(コールセンター)

0120-107-792

(土日祝を除く 8:30～17:15、5/29㊟まで)

無料

法律相談

- 毎月第1～第4月曜日の夕方
- 要予約。事前に下記電話番号へ

TEL 086-803-1707

日本共産党市議団

No.306  
2026.1.2511月議会  
報告日本共産党  
岡山市議団news発行者 日本共産党岡山市議団  
岡山市北区大供 1-1-1 ☎086-803-1707  
Mail: kyousantou\_shigidan@city.okayama.jp

日本共産党岡山市議団

林じゅん  
(中区)田中のそみ  
(北区)やどめ和子  
(東区)東つよし  
(南区)市民は  
新アリーナ  
ノーマーが多数

## 11月議会での新アリーナ関連予算

予定地の測量・地質調査	4,800万円
寄附金募集の手数料	2,750万円
周辺道路の改修	2,450万円
既存駐車場の改修	2,680万円
建設・運営事業者の 選定条件作成の委託料	8,000万円

2億680  
万円賛成  
(計33人)自民、公明、創政、  
懐かしい未来反対  
(計9人)共産、みらいえ、  
おかやま未来プロジェクト、維新

新アリーナの問題点がよく分かる党市議団の反対討論全文を、ぜひご覧ください。

4面に  
続く

## 今後の流れ (25年12月時点の想定)

		市の動き	議会で議決が必要な議案
2025年	12月	■ 寄附金募集を開始	■ 事業開始の <b>予算</b> (可決)
2026年	1月	■ 建設・運営事業者の選定条件を作成する ■ 市民向け説明会を1～4月に4回開催	
	2月	■ コンサル業者と契約	
	6月		■ 事業者の選定基準を盛り込んだ <b>条例</b>
	11月	■ 建設・運営事業者の募集	
2027年	4月	市議選(任期満了の場合)	
2028年	2月	■ 建設・運営事業者の決定	■ 建設・運営事業者との <b>契約</b>
2028年度ごろから		■ 設計(2年程度)	
2029年	9月	市長選(任期満了の場合)	
2030年度ごろから		■ 建設(33ヵ月程度)	
2031年	4月	市議選(任期満了の場合)	
2032年度のどこか?		■ 施設の供用開始	■ 供用開始前に施設設置の <b>条例</b>

昨年末の市議会で新アリーナの事業が正式決定されたと聞けたけれど...

アリーナ建設  
まだ止められる!

“アリーナ建設白紙化”署名はコチラ

26年4月からの  
水道料金値上げが延期

物価高騰対策の一環で、補正予算から約5.4億円を充てて、値上げを1年間延期します。市民運動の反映です。延期に留めず値上げ中止、引き下げを求めて、引き続き声を上げていきましょう。

市障害者体育センターに  
エアコン設置へ

中央図書館の隣にある障害者体育センターのアリーナには、エアコンが設置されていません。党市議団は速やかな設置を繰り返し求めてきました。11月議会でも市長が、設置を前向きに検討すると表明しました。